石川県七尾美術館だより

平成24年1月1日発行編集·発行 石川県七尾美術館

第68号(冬号)



ISHIKAWA NANAO ART MUSEUM ハンス・フィッシャーの世界展 『こねこのぴっち』ょり 小さな絵本美術館蔵



展覧会紹介

「ハンス・フィッシャーの世界展」

に手掛けるようになります。この頃に、初めて自

体館日については裏表紙をご覧ください

平成24年1月4日

水

4月15日

目

2日24日(金)~4月15日(日)

◆第一・第2・第3展示室

表情豊かな動物たちが登場する絵本で愛され登場する絵本で愛されらなくても、絵本『こねらなくても、絵本『こねらなくても、絵本『こねらなくても、絵本『こねらなくても、絵本『こねらなくでも、絵本『こねがたちが

という若さでなくなった心筋梗塞により、49歳

すか。 た手描き絵本が原作になっていることをご存知で 自分の子どもたちへのプレゼントとして制作され 彼が世に送り出した絵本は生涯6冊。その多くは

ルニション」の舞台美術・衣装を妻ビアンカと共ルニション」の舞台美術・衣装を妻ビアンカと共ながらフェルナン・レジェのアトリエで絵を学びます。卒業後はパリへ渡り広告会社で働きを学びます。卒業後はパリへ渡り広告会社で働きを学びます。卒業後はパリへ渡り広告会社で働きました。ベルンに戻り、やがて長女ウルスラが誕生します。ウィンドーディスプレイや舞台美術、生します。ウィンドーディスプレイや舞台美術、生します。ウィンドーディスプレイや舞台美術、生します。ウィンドーディスプレイや舞台美術、生します。マニューリッヒ芸術学校で版画の場合の弱かったフィッシャーを表している。

「フェルドマイレンのアトリエにて(1955)」

ます。 ます。 ます。

日本では絵本作家として知られるフィッシャー日本では絵本作家として知られるフィッシャー日本では小学校の教科書や壁画の仕事など、その活れた後、絵具で手彩色されています。出版絵本の原画の多くも、リトグラフ(石版画)で制作された後、絵具で手彩色されています。出版絵本のでは小学校の教科書や壁画の仕事など、その活れた後、絵具で手彩色されています。

約200点を展示紹介します。 原画、下絵にその他版画や色鉛筆画などを加え、ら家族に贈った手描き絵本や、出版された初版本、本展覧会では『こねこのぴっち』を含む、これ

『メルヘンの絵本』(初版1945年)

 \bigcirc



「しあわせハンス」

『ブレーメンのおんがくたい』(初版1944年)

り「ひんひん」「わんわん」
記念すべきフィッシャーの最初の絵本です。長女ウルスラにクリスマスプレゼルスラにクリスマスプレゼントとして贈った絵本で、カルスラにクリスマスプレゼントとして贈られた手描き絵本は家に贈られた手描き絵本は家に贈られた手描き絵本は家はで大切に読まれました。

ん一乗た。家ラ盟で、ゼウ

「どろぼうの家での食事」

家は眠りについたんだな」と思ったそうです。たちはこの大騒ぎが一段落すると、「フィッシャー家族揃って大声で鳴きまねをしました。近所の人「にゃあにゃあ」と泥棒を追い払う場面になると、

●『いたずらもの』(初版1945年)

こちらもグリム童話『ならずもの』を題材としています。傍若無人なおんどり ひどい!!」と思わずにはいひどい!!」と思わずにはいられないでしょう。激しいられないでしょう。激しいられないでしょう。激しいパールへ贈られないでしょう。



「かものボート

『たんじょうび』(初版1947年)

ぴっち』は創作絵本で す。この絵本は、アンナ・ んじょうび』「こねこの したものでしたが、『た はグリム童話を題材と ります。これまでの絵本 絵本の構想にとりかか いた頃、フィッシャーは の4歳の誕生日が近づ 次女アンナ・バーバラ



とぎ話に登場する、たくさん

グリム童話などの昔話やお

『るんぷんぷん』(初版1951年)

そして最後のページには、かごの中で休む子猫た しようとたくさんの動物たちが力を合わせます。 りました。大好きなおばあさんの誕生日をお祝い バーバラが好きなものがたくさん詰まった話にな

の動物たちが「るん ぷん ぷ

この作品を、フィッシャーは ように行進が続く文字のない 子どもたちに「ルン プン プ プッパカパー」と読み聞かせ ン」「ドンチャカ ブンチャカ ん」と行進します。絵巻物の

『長ぐつをはいたねこ』(初版1957年)

この絵本が完成した翌年に 猫の気持ちになって描くた 様々な表情の猫が描かれて ませています。この年の彼 いて歩き回ったそうです。 めに髭をのばし、長靴を履 います。毎日猫に悩まされ、 の日記には猫、猫、猫…と を自身の解釈で大きく膨ら



シャルル・ペローの原作

フィッシャーは亡くなりました。

します。 の原案など、絵本の世界とは一味違う作品も紹介 た魚の作品や、スイス伝統のお祭りの作品、 魚釣りが大好きだった彼が好んでモチーフとし 壁画

※展示作品は全て小さな絵本美術館蔵です。

ち・母猫)や隣家の虎猫フェリックス(父猫)が

は身近なモデルがいました。飼い猫のナナ(ぴっ

す。彼の描く動物たちに する愛情が感じられま もたちや動物たちに対

にフィッシャーの子ど

れ真似をする、そんな姿 と出会う動物たちに憧 でした。外へ出て、次々 ちらを見ていた白黒の

後のページでジッとこ

『たんじょうび』の最

『こねこのぴっち』(初版1948年)

終わっていないのです。

匹描かれています。この白黒の子猫のお話がまだ ち。その中に、まだ眠っていない白黒の子猫が1

子猫、あの子猫がぴっち

◎アニメ『こねこのぴっち』上映会【入場無料】

日時 3/4 (日)、4/1 (日) アートホール 午後2時から

★絵本やマグカップも! ハンス・フィッシャー展グッズ★

ぴっち』『ブレーメンのおんがくたい』など原画 が展示されている絵本も7種類販売いたします。 本展図録やポストカードをはじめ、『こねこの

あります。 カップやグリーティン トなど様々なグッズが グカード、リングノー そのほかにも、マグ

でお早めにどうぞ。 まうこともありますの 終了前に売り切れてし 人気商品は展覧会期



★期間限定メニュー&プレゼント★

み物とセットでお楽しみいただけます。 グロフ」が新メニューとして登場!お好きなお飲 本『たんじょうび』にでてくるスイスのお菓子「ク ティールームでは、ハンス・フィッシャーの絵

ペーパーコースターをも 作品をモチーフにした ご注文の方には本展出品 コレートもおすすめです。 れなくプレゼント♪ レート、豆乳ホットチョ さらに、セットメニュー スイスといえばチョコ



ョコレー クグロフ

⇔観 覧 北江

大高生 350	一般 700	個
0円 300円	OE 600E	人 団 体

※中学生以下無料・団体は22名以上です。

冬の所蔵品展

12月23日(金・祝)~21月12日(日)

600点が所蔵されています。 様のご厚意により、所蔵作品も徐々に充実。現 在「池田コレクション」204点を中心に、 の、今年で18年目を迎えました。その間多くの皆 平成7年に開館した当館も時のたつのは早いも 計約

様々なジャンルの作品を紹介しています。 本展ではそれらの所蔵品より、次の2テーマで

池田コレクション~茶道美術品を中心に~

道具なら掛物や香炉、点前道具なら茶入や茶碗な 待合・露地道具の5種類に大きく分けられ、装飾 道具は装飾道具、点前道具、懐石道具、水屋道具、 茶事は多くの茶道具を使用して行われます。茶 用途により多くの種類があります。

され、使用されています。 現在国内だけでも膨大な数の茶道具が各所に所蔵 て多岐にわたる茶道具が制作・伝世されており、 そしてこれまで時代や作者、産地などを別にし

てそれぞれの歴史があるといえます。 け継いだ歴代所有者たちの想いが込められ、そし それらの道具1点1点には、制作者やそれを受

術品など計36点の作品を展示しています。 本テーマでは「池田コレクション」より茶道美



「黒楽茶碗 銘菊露」 樂 長入



◇第2展示室

〜魅力的な女性たち〜

皆さんは何を連想しますか。様々な対象があるか 方は多いのではないでしょうか。 と思いますが、その中で「女性」を思い浮かべる 美術工芸における「美しいモチーフ」といえば

を問わず数多くの美術工芸に表現されてきまし に至るまでその例は数えきれません。 た。日本においても古くは土偶から始まり、 女性は「美」を象徴する存在であり、国や時代 現代

象を与えます。 や愛憎などの感情などを内包し、観る者に強い印 なく、その煌びやかな中に生命や豊穣、喜怒哀楽 また、女性の姿は単に美の象徴としてのみでは

しています。 の、様々な姿を表した絵画や彫刻など26点を展示 本テーマでは、色々な「魅力」を持つ女性たち



「美人図」月岡雪鼎 (池田コレクション)

「田中シゲ像」田中太郎

「麗色」中村静勇

会観 覧 料

大高生	—	
NWOE	の い の 田 の に 形	個人
Naoe	280円	団体

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

アー ŀ ホ] ル 催 し物案内

第6回 中 3月10日 (日) 能 登 看護 開演 研 午後1時 究 会 無入料場

キャリアアップを図ります。 として、これまでに5回の看護研究発表会を開催 部の中山栄純先生をお招きし、看護士としての してきました。今回も講師として北里大学看護学 能登で働く看護士の、 知識の共有と研鑽を目的

石川県看護協会能登中部地区

公立羽咋病院 荒井謙

第15回 ピアノ・エレクトーン発表会 3月18日 (日) 開演 午後1時30分 無入 料場

お待ちしております。 曲に挑戦します。どうぞお気軽にご来場ください。 ら一つの曲を奏でるアンサンブル、連弾演奏の2 力を表現するソロ演奏、お互いの音楽を感じなが 保育園児から出演する発表会です。個々の演奏

石島亜希子音楽教室

スプリングコンサー 3月20日 (火・祝) 開演 午後2時

と声楽の発表会です。ゲストにオーボエの古市咲 子先生をお招きして、楽しいコンサートにいたし 「向美加門下生、万行美幸門下生によるピアノ

ます。どうぞお気軽にご来場ください。 万行美幸 川向美加門下生、万行美幸門下生 **2**0767 (52) 2261



イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 関連イベント報告♪

11 月 23 日 (水・祝

《「のまりん」の紙芝居劇場》

り込み「面白すぎ!」の連発♪ ました。 楽しい時間をありがとうござい のまりん先生(野間成之氏)、 ルドに子どもたちはすっかり入 愛情いっぱいののまりんワー



11月27日 (日)

《初めての木口木版画

12月11日 (日) の「少しでも木口木版画のファ トライされていました。釣谷氏 はとても熱心に細かい彫りにも 指導により、参加者のみなさん いう言葉が印象的でした。 ンが増えてくれれば嬉しい」と 本展入選作家・釣谷幸輝氏の



《おはなし劇場》

皆さん、ありがとうございまし た「NPO法人ぽっかぽか」の 子揃って物語の世界を楽しんで パネルシアターが上演され、親 いました。ご協力いただきまし 絵本の読み聞かせや人形劇、



ずさんだり足でリ き入り、中には口 懐かしい音色に聴

ズムをとったりす

その他にも…

評でした♪また来年も参加してくださいね! リクエストで開催した《絵本アニメ上映会》も好 ございました。また、土日や、園児・学校団体の 絵本を作ろうよ!》を開催、お手伝いいただきま した「絵本の会もこもこ」の皆さん、ありがとう 《ナイトミュージアム》、毎年恒例の《かんたん

第 11 回 石川県七尾美術館 ボランティア研修旅行を終えて

平成24年度

金沢の3箇所の施設を訪問しました。 去る10月7日、当館ボランティア研修旅行で、

幅広い芸術活動の場として市民ギャラリーと

当館では個展、グループ展、演奏会などの

アートホール利用申込みについて

市民ギャラリー&

年4月からの利用について、**1月4日(水) ~** アートホールの貸室を行っています。平成24

び交いながらも、オリジナルの金箔貼り「靴べら」 を観る目も変わる?ことでしょう。 り体験、では、「あ~!」「しまった!」の声が飛 明してくださり、皆さん金箔の魅力に引き込まれ にニンマリ。これからは、金箔を貼った展示作品 ていました。また、一見簡単そうに見えた、箔貼 社長様(写真前列左端)が直々に館内を案内、説 まず午前中は《箔一》へ♪。お忙しい中、

種類などについて 蓄音器館》。「聴き お話ししながら、 く蓄音器の歴史や 市屋館長様が楽し 比べ」では、八日 楽しく歓談しての昼食後に訪れたのは、

作

「複製松林図屏風

展示期間

12月23日 (金·祝) ~ 2月12日

<u>日</u>

(「冬の所蔵品展」

期間中

①当館展示情報

《金沢

>>>>長谷川等伯関連展示情報

× ×

間もありますので、詳しくは七尾美術館まで す。当館主催事業の関係上、利用できない期 2日(日)を第1次募集期間として受付けま

お問い合わせください。

【利用可能期間は当館ホームページで確認できます】



②岡山県立美術館特別展覧会

「長谷川等伯と雪舟流」続報

色々な蓄音器の音

いました。皆さん、 を聞かせてくださ

舟流」と総称される画家たちの名品など、合 所蔵品3点も出品予定)、雪舟をはじめ「雪 雪舟流」展。等伯作品約20点を中心に(当館

いよいよ開催間近となった「長谷川等伯と

お見逃しなく! 計約60点が展示さ

る姿も♪。きっと、青春時代を想い出した方も多

かったのではないでしょうか。

最後に訪れたのが、金沢蓄音器館すぐ隣の

1 りの地・岡山なら とご興味のある方は ですので、等伯に ではの豪華な内容 れます。雪舟ゆか

展覧会期 1 月 20 日 金 ~ 2 月 19 日 日

※同展覧会の詳細については、 い合わせください。 (**2**086-225-4800) 岡山県立美術館にお問

なりました。ありがとうございました。

られる、鏡花の幻想の世界を堪能しました。 浪漫主義文学の大家・石川3文豪の1人として知 んの案内で、2グループに分かれて館内を見学、 鏡花記念館》です。学芸員さんとボランティアさ

参加者皆さんのご協力のもと、充実した旅行と

等伯コーナー

長谷川等伯展講演会報告

講師 山本 英男氏 講師 山本 英男氏



作品が大徳寺山門壁画で、これは画期的 姿を消してしまい、再び登場するのは「等 寺蔵)を制作した後、歴史の表舞台から からのことなんですね。その転換を示す 伯(はじめは等白)」の画号を名乗って 34歳時に「日堯上人像」(京都市・本法 ないかとされています。ところが等伯は から、そのつてを頼って上洛したのでは 山の一つである本法寺の末寺だった関係 である七尾の本延寺が京都法華宗十六本 ことになりますが、実家奥村家の菩提寺 活動を始めており、その頃は絵仏師とし 7年 (一五六四)、26歳の時にはすでに テーマです。七尾で等伯は遅くとも永禄 都で活動していた時期のことが本日の 真名の「信春」を名乗っており、かつ京 ての仕事が主体でした。その後元亀2年 (一五七一)、33歳の時に京都に移住する 等伯が「等伯」という画号を得る前、

等伯が大徳寺山門壁画を描いたのが天正17年(一五八九)51歳のときで、「日本何をしていたのかよく分からない、で白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のテーマは、まさ空白なのですね。今日のデーマは、まさでも見るでも見えてくるのではないかと思が少しでも見えてくるのではないかと思います。

♥等伯の狩野派入門を示唆させるもの

なります。 の三男、松栄(直信)が継ぎ、そして次 ぎますが早くに亡くなり、その跡は元信 降も子孫にずっと伝えられていきます。 があり、その体制は元信が亡くなって以 集団での作画体制を確立したことの3点 と、②レパートリーを拡大したこと、③ けする平明で端正な画風を作り上げたこ 野派を隆盛に導いた要因には、①万人受 の隆盛を確たるものにします。元信が狩 り、その跡を継いだ長男の元信が狩野派 絵師に任じられることで画壇の重鎮にな 場し、室町幕府八代将軍足利義政の御用 はいよいよ等伯のライバル永徳の登場と 元信没後は息子の祐雪(宗信)が跡を継 で、大体15世紀の中頃に初代の正信が登 狩野派は日本最大の絵師集団・流

若木集』、『弁玉集』、『本朝画史』などの善等伯の狩野派入門については、『丹青

江戸時代の画伝書にそれぞれ記述があり、『丹青若木集』は狩野松栄、『弁玉集』り、『丹青若木集』は狩野松栄、『弁玉集』は狩野永徳に師事したと記され、『本朝は狩野永徳に師事したと記され、『本朝は狩野永徳に師事したと記されています。長谷川家の後裔・仲家に伝わる「長谷川家側の系譜にもは「若い頃より京都に出て狩野祐雪に絵は「若い頃より京都に出て狩野祐雪に給い法を学んだ」とあり、等伯が祐雪に給い法を学んだ」とあり、等伯が祐雪に給い法を学んだ」とあり、等伯が祐雪に給います。 大屋での活動が作品によって確認さて、七尾での活動が作品によって確認さて、七尾での活動が作品によって確認される前より京都に出て狩野派に学んだ、ということを示しているのです。

これらの絵馬が描けるわけがない。です すが、久蔵の生年が永禄11年ですから、 が同一人物とみられていたため、久蔵の 亀元年の年記を持つ2面の絵馬が妙覚寺 う説を唱えられております。『扁額規範』 十六本山の一つで狩野家の菩提寺です。 当てはまる。 です。すると祐雪に師事したという「長 していたのではないか、ということなん す。従って等伯は早くより京都を行き来 元亀元年は32歳で移住の前年になりま 禄4年は信春23歳で京都移住の10年前、 から自ずと等伯が描いたことになり、永 記事内に信春の絵馬の話が出てくるので いう注記があります。かつて信春と久蔵 にあったが、天明の大火で失われた」と こに「信春の筆」として「永禄4年と元 都市・清水寺蔵)が掲載されており、そ 久蔵が描いた 「朝比奈草摺曳図絵馬」 (京 な絵馬を記した冊子の中に、等伯の息子 年(一八一九)に刊行された京都の有名 移住前に何度か京都に行っていた」とい 谷川家系譜」の記録と時期がぴったりと (京都市・八坂神社蔵)という、文政2 さらに近年、宮島新一先生が「等伯が しかも妙覚寺は京都法華宗

> です。 高いのではないかな、と考えられるわけですから祐雪への師事はかなり信憑性が

次に等伯が信春時代に使用した印章に次に等伯が信春時代に使用した印章にある。という説を松原茂先生が指摘されています。特野派の絵師は大勢いますが、相の印も「信」の右下の「口」の形を「凵」としています。お野派の絵師は大勢いますが、も同じで、等伯は彼らの印章をまねている、という説を松原茂先生が指摘されてる、という説を松原茂先生が指摘されてる、という説を松原茂先生が指摘されてる、という説を松原茂先生が指摘されてる、という説を松原茂先生が指摘されてる、という説を松原茂生が指摘されていますが、一川の印章を意識的にまねているとみえるもう一つ「春」の字ですが、こちらは等の印章を意識的にまねているとみえるをの印章を意識的にまねているとみえるからです。

等春は雪舟の弟子の画僧です。等伯と窓意であった本法寺の住職・日通上人がということになる無文(分)、四代目養父宗清、五代目を初代が雪舟、そして二代目が等春、以を初代が雪舟、そして二代目が等春、以を初代が雪舟、そして二代目が等春、以を初代が雪舟、そして二代目が等春、以を初代が雪舟、でして二代目が等春、以を初代が雪舟、でして二代目が等春、以を初代が雪舟、では一番山の一番の字体をあります。等春は長谷川家にとって重要な絵師であったからこそ、等春印の「春」の方も、元信印もしくは宗信の「春」の方も、元信印もしくは宗信の「春」の字体をまねたのでしょうからことにないでしょうか。

野派に師事した一つの証左ではないか、野派に師事した一つの証左ではないか、明日生先生はこのことは信春が狩いのはこの形です。「鼎形印」というのはそもそも狩野派が使用できる印章であいのはこの形です。「鼎形印」というのはそもそも狩野派が使用できるのも注目されます。「鼎使用されているのも注目されます。「鼎使用されているのも注目されます。「鼎使用されているのも注目されます。「鼎使用されているのも注目されます。「鼎

と提唱されております。

確かに狩野派作品を手本に制作を行って り狩野秀頼の印を捺す「闘牛図」と絵柄 存の「牛図」(東京国立博物館蔵)、やは 館蔵)とそっくりです。次に模本のみ現 せん。ですから決して狩野派一辺倒とは 野派風を示す作品は必ずしも多くありま いたことが分かるんですが、そうした狩 とよく似ています。これらより等伯は、 秀頼筆の「睡李白図」(板橋区立美術館蔵) 図」(石川県七尾美術館蔵)。同じく狩野 がほとんど一緒です。そして「陳希夷睡 か狩野派に学んだと思しきものがありま 関係を見てみましょう。その中には何点 ことは注意すべき点です。 いえず、色んな要素を学んでいるという た「耕作図屛風」(神奈川県立歴史博物 今度は信春時代の作品から狩野派との 狩野派の絵師である前嶋宗祐が描い 最初に「春耕図」(京都国立博物館蔵)

♥狩野派入門を前提とした「信春時代_

野派発展の要素を学び、七尾に持ち帰っ あったのではないでしょうか。等伯は狩 したというのは、非常に大きな意味が が前提であり、入門時期は短かったと思 た。そのことは彼の作画活動にとって います。しかし一時であれ狩野派に入門 れます。ただ、その時は七尾に戻ること 本法寺からの要請によるものとも考えら とっても関連の深い寺院であり、入門が のだと思います。特に本法寺は狩野派に はやはり法華宗のネットワークを使った 野派に師事することができたのか。それ 名絵師である彼が、どのような経緯で狩 る可能性を言いました。すると地方の無 した時期について、七尾時代23歳頃であ と思います。最初に信春が狩野派に入門 信春時代の等伯の動きを推測してみたい 狩野派入門が事実であるとした上で、

色々と有利に働いたと思います。

があります。狩野派と無関係であるなら ると思います。ただ、長期間在籍した割 用時期が在籍期間を示す一つの目安にな できないでしょうから、「鼎形印」の使 ば、あの狩野派とそっくりの印章は使用 るのですが、その論拠として「鼎形印 とかなり長期間、狩野派にいたことにな 頃までではないかと思っています。する らこそ移住を果たせたと考えるのです。 しく、それはつまり狩野派との関係が続 はないか。狩野派との縁が切れていれば、 す。そして狩野派の門を再び叩いたので 準備のために上洛した可能性がありま 跡を残しているということは、移住する れは移住する前年です。前年に京都に足 面の内1面の年記が元亀元年であり、こ で興味深いのが例の妙覚寺の絵馬で、2 京都移住については前々から計画されて も決めておく必要もある。そう考えると、 らないし、京都での住む場所や仕事など えば長谷川家の今後を算段しなければな へ行きますというわけにはいかない。例 が亡くなったからといって、すぐに京都 私はそうじゃないと思うんですね。両親 ます。それはこの年に養父母が相次いで には狩野派風の作品が多くないことをど 在籍したのか。私は天正年間後半、45歳 に再就職できるという安心感があったか いていたことを示唆するもので、狩野派 元亀元年に妙覚寺に絵馬を残すことは難 いたと考えざるを得ないんですね。そこ 亡くなったからと考えられていますが、 それでは一体等伯はいつまで狩野派に さて、等伯は33歳の時に京都に移住し

> たのではないか、と思います。 立場で色々な画風の絵を描くことができ

等伯と狩野派との間の溝が深まっていっ 面白いはずがありません。このことで、 能性があります。さらに妙覚寺(岡山市) り込む。また、やはり京都法華宗十六本 ずっと狩野派が入っていたのに等伯が入 たと思われます。 はお得意様を奪われるという形であり、 になります。ですから、狩野派にとって た寺院に作品を残している、ということ 法華宗の、しかも狩野派とも関係してい ぼ同じ時期と考えられますので、「等伯 図屛風」の制作時期は「西王母図」とほ なぜかそれを等伯が描いている。「花鳥 は狩野派に注文されるべきなのですが、 る家柄です。本来ならばこのような屏風 来で、後藤家は狩野家の親密な関係にあ 金工で有名な後藤家の親戚、相馬家の伝 所蔵の「花鳥図屏風」。この作品は実は ていた寺院であり、等伯が割り込んだ可 すが、本隆寺もやはり狩野派が出入りし 説がある「西王母図」が所蔵されていま 正12年の本隆寺再建にあわせて描かれた 山の一つである本隆寺には、等伯筆で天 えます。例えば本法寺なども、それまで よるトラブルだったのではないか、と考 狩野派の得意先から仕事を奪ったことに (白)」となる直前の時期に京都の重要な そして狩野派離脱。その理由は等伯が

にあてた挑戦状であり、ある意味宣戦布 ありません。逆に等伯にとっては狩野派 は狩野派にとっては屈辱以外の何物でも の弟子であった者が描いたのです。これ 建物の壁画制作を、あろうことか狩野派 ました。ところがその大徳寺の象徴的な 狩野派の大の得意先で深い繋がりがあり に離脱していたのではないか。大徳寺は く大徳寺山門の壁画制作の段階ではすで 離脱時期もはっきりしませんが、恐ら

なら親族や有力弟子とは異なり、 仕事をまわしてもらう立場ですね。それ 想像しました。普段は別行動をとり、時々 中枢部ではなく末端にいたんだろう、と う考えるのか。私は恐らく等伯が狩野派

自由な

所対屋障壁画制作で割り込みを図ってい 翌年、等伯は狩野派が依頼されていた御 告といってもいいでしょう。実際にこの

▼「信春」の名が消えたの

考えるのです。 うことが出来なくなったのではないかと 等伯としては、その後信春の名を一切使 ないか。ですから、狩野派と仲違いした の「信」も狩野家からもらったものでは はほとんど「信」が付きますので、信春 もの」だったから。狩野派絵師の真名に という名前が「狩野派から名付けられた うじゃないかと思うんです。それは信春 来ずっと私の謎だったのですが、最近こ ぜかということは、等伯研究を始めて以 伯は本来ならば長谷川等伯藤原信春であ の場合、探幽は号であり狩野探幽藤原守 では考えられないです。例えば狩野探幽 からといって本名を名乗らないのは普通 名はあくまでも信春であり、画号を得た 春」の名前まで1度も使った形跡がない さらに奇妙なことですが、彼は以後「信 印章を一切使うことはなくなりました。 と同時にこれまで使っていた「信春」の という名前を名乗ることによって、彼は るはずですが、そうではない。それがな 信がフルネームになります。ですから等 んです。等伯は画号で、絵師としての本 絵師として新たな出発を図ります。それ 大徳寺山門の壁画制作で「等伯

※本文は平成23年8月21日に行われ めたものです。 内容を、当館の責任においてまと た「長谷川等伯展」特別講演会の



平成24年度春の展覧会予定



◆第1・2・3展示室

石川県七尾美術館春季展覧会

「池田コレクション名品展」・「能登が生んだ作家・作品たち」(仮称)

平成24年4月23日(金)~6月3日(日)

「池田コレクション名品展」では、現在204点を数える「池田コレクション」 より、貴重な作品を幅広く紹介。また、「能登が生んだ作家・作品たち」では、 古くから伝えられた文化財から近年制作された最新作品までを、「能登地方」 をテーマとして当館所蔵品・寄託品などより紹介予定です。



(池田コレクション)

平成24年度 石川県七尾美術館友の会会員募集のご案内

新年度友の会会員を次の要領で募集いたします。現在会員の方で更新 をご希望される方は改めてお申込み下さい。お申込みのない場合はその まま退会となってしまいますのでご注意下さい。

★入会手続き★

- ①受付開始 3月1日(木)から【年度会費1,000円】
- ②受付場所 当館受付カウンターまたは郵便受付 (郵便振替用紙をご利用ください)
- ※郵便局備え付けの振替用紙の通信欄に必要事項《会員の区別(更新・新規・元会員)・郵便番号・ 住所・電話番号・氏名・生年月日》をご記入のうえ、会費を添えてもよりの郵便局窓口へお出 し下さい。払込料金120円は申込者負担となります。

郵便振替口座 00710-0-50795 石川県七尾美術館 友の会 加入者名

★友の会に入会すると…こんな特典があります!★

その1 当館主催展覧会の観覧料が割引になります。

その2 情報満載「美術館だより」(年度内4回発行)が郵送されます。

その3 相互割引提携館主催の展覧会観覧料が割引になります。(会員本人)

その4 特別企画展開会式・内覧会へご招待。(無料)

その5 販売グッズが割引になります。(一部除く)

その6 喫茶室利用補助券がもらえます。(50円×3枚)

このほかにも友の会会員限定の催し、特典がありますのでぜひ更新、 ご入会ください♪

参加者を募集します

友の会会員の方を対象に「美術講座」を開催します。

七尾de再発見!~-本杉編~

開催日:平成24年3月18日(日) 時 間:午前9時~午後3時(予定)

港町七尾の文化が薫る《一本杉通り》…「見て」「聴 いて」「体験して」楽しい講座です。

勝本邸【見学&お話】

モダンアート「勝本冨士雄」 の作品と登録有形文化財で

ぬのや仏壇店【箔押し体験】

七尾仏壇の金物細工職人が作った ペンダントトップに金箔押しをします。

しら井【見学&食事】

2階お座敷で"海藻おしば"アートを見学後、 美味♪予約こんぶ料理をいただきます。

高澤ろうそく店【お話】

店主の高澤良英氏が "ろうそくと香り" に関 する興味深いお話をしてくださいます。

参加方法等詳しくは2月中旬に会員様宛にお送りす るご案内ハガキをご覧ください。



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。





◎次号・第69号(春号)は4月1日発行予定です。